Ⅰ．企業概要

設立	2007年7月		
業種	サービス業	**資本金**	70百万ウォン
主な生産品	ソフトウェア	**売上高（2017年）**	3,300百万ウォン
従業員	27名	**輸出額**	–
海外拠点（輸出チャンネル）	–		
技術導入に関する希望形態	① 技術導入() ② ライセンシング() ③ 共同研究・開発(●) ④ 技術指導(●) ⑤ その他()		

Ⅱ．申請企業の技術開発現況

〇当社の保有技術

1） WEBに基づく行政業務管理システム「フラミンゴ」を開発

・行政業務管理システムにより役所に入ってくる相談や苦情を効率的に管理できる

・相談や苦情を見える化してわかりやすく、素早い対応ができる

・roll-baseを活用したメッセンジャーチャットボットを開発し、システムに適応

・技術特許およびソフトウェア品質獲得

2） 郵便物管理システム開発

・郵便番号と住所を自動認識して郵便物を分離するシステムとお客様満足ソリューションを開発

〇技術導入の背景

・現在日本は写真やイメージの中にあるテキストを認識し翻訳する技術まで常用化されている

・当社と協業できる余地がたくさんあると思われる

Ⅲ．導入を希望する技術内容

〇技術概念

1） 役所における国民の相談や苦情を自動に分類する技術

・役所のWEB掲示板に相談や苦情が上がってくると、文章の内容を分析して過去に似たような文があったかを調べる

・分析した結果にもとづいて担当部署につなげて自動分類する

・過去に同じような相談をうまく解決した相談人につなげる。

・issuer分析を通して簡単な質問はボイスチャットで自動対応

2） 音声認識による感情状態分析

・電話での相談・苦情時において、言葉のアクセントや音声、高さなどを分析して感情状態を調べる
・その結果により、自動で適切な担当部署につなげる
・相談や苦情時に暴言などがあった場合、ブラッククライアントの担当部署やボイスチャットにつなげる
・ボイスチャットは過去の相談データから適切な情報を提供
・そのためには、音声と周辺のノイズを分離する技術が必要。また音声の波長やアクセントをテキストに変換しこれをキーワードで分離し、DBと対照する技術

〇導入希望技術の特徴および条件
①技術内容の範囲が広すぎず、AIやディープラーニングの構築費用が高くないこと
②WEBに具現できること。もしWEBが難しいなら早いスピードを持っている技術
③できるだけLinux/UNIX系列のもので、サーバーはオラクルまたはチベロを利用するもの
④システム構築時にお互い成長できるような企業または大学研究所

〇技術適応範囲
①自社開発のプログラムに適応して、自治体などに納品予定
②その後、お客様の相談が多い銀行や製造業にも拡大
③将来的にはともにグローバル展開